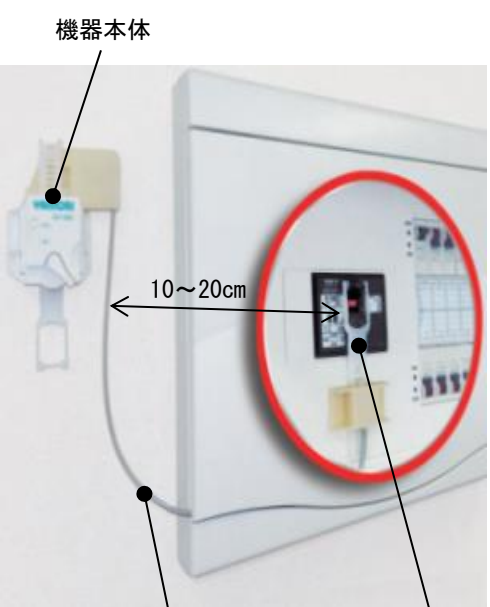
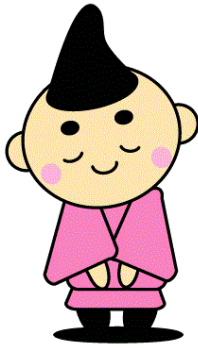


●感震ブレーカー比較一覧表（分電盤に設置するタイプ）

機器番号	①	②	③	④
機種名	ヤモリ	ヤモリ・デ・セット	パワーヤモリセット	ピオマ
設置箇所	分電盤	壁+分電盤	壁+分電盤	壁+分電盤
機器写真	 バンド ブレーカーレバー 機器本体	 機器本体 10～20cm ワイヤー バンド	 機器本体 バンド 遮断機 ワイヤー	 機器本体 バンド 遮断機
参考価格 ※1	3,080 円	5,830 円	9,570 円	10,780 円
自己負担額	1,080 円 ☺ <u>もっとも安価</u>	2,830 円	6,570 円	7,780 円 ☺ <u>比較的高価</u>
遮断のタイミング	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知して 3 分後に遮断
寸法 (mm) 幅×高さ×厚み	機器本体:66×145×55	機器本体:90×150×55 ワイヤー長さ:480	機器本体:90×150×55 遮断機:66×150×55	機器本体:62×87×47 遮断機:67×67×31
設置方法	①機器本体を両面テープで分電盤に貼付ける ②付属のバンドをブレーカーレバーにひっかけて設置 ※付属のアルコールパッドで接着部分をきれいにする場合、アルコールが乾いてから貼り付けてください	①両面テープで機器本体を壁に、バンド部分を分電盤に貼付け ②付属のバンドをブレーカーレバーにひっかけて設置 ※付属のアルコールパッドで接着部分をきれいにする場合、アルコールが乾いてから貼り付けてください	①両面テープで機器本体を壁に、遮断機を分電盤に貼付ける ②遮断機のバンドをブレーカーレバーにひっかけて設置 ※付属のアルコールパッドで接着部分をきれいにする場合、アルコールが乾いてから貼り付けてください	①機器本体を木ネジで壁に取り付け、遮断機を両面テープで分電盤に貼付ける ②遮断機のバンドをブレーカーレバーにひっかけて設置
特徴	☺ <u>設置が簡単</u> ☺蓋付きの分電盤の場合、 <u>蓋が閉まらない</u> （動作に影響はありません）	☺ <u>設置が簡単</u> ☺機器本体とバンドをワイヤーで繋いで分離し、蓋付きの <u>分電盤の蓋がほぼ閉まる</u> ☺機器本体を両面テープで壁に貼り付けるため、土壁や砂壁等、 <u>壁の材質によっては設置できない</u>	☺ <u>設置が簡単</u> ☺契約アンペア 75A 以上等 <u>ブレーカーレバーが硬いものにも使用できる</u> ☺蓋付きの分電盤の場合、 <u>蓋が閉まらない</u> （動作に影響はありません） ☺機器本体を両面テープで壁に貼り付けるため、土壁や砂壁等、壁の <u>材質によっては設置できない</u>	☺遮断まで3分の猶予があり、 <u>避難時の照明が確保</u> できる ☺遮断後も機器本体が7分間光るため、 <u>分電盤周囲の明かりが確保</u> できる ☺蓋付きの分電盤の場合、 <u>蓋が閉まらない</u> （動作に影響はありません） ☺機器本体をネジで壁に取り付けるため、 <u>壁に穴があく</u>
累計設置実績	約62%（ 第①位 ）	約7.2%（ 第③位 ）	約0%	約0.8%

※1 参考価格は変動する場合があります。価格の変動があった場合、市のホームページを随時更新してまいりますので、最新の価格は市のホームページにてご確認ください。

取り付け後は、定期的に設置状態、動作の確認をお願いします。



●感震ブレーカー比較一覧表（アース付き（もしくは三端子付き）コンセントに設置するタイプ）

機器番号	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
機種名	Ki 感震センサー （アース線タイプ）	Ki 感震センサー （三端子タイプ）	震太郎	一発遮断	瞬断	ZEN断
設置箇所	アース付きコンセント	三端子コンセント	アース付き or 三端子コンセント	アース付きコンセント	アース付きコンセント	アース付きコンセント
機器写真	アース付きコンセント 機器本体  アース端子 アース線	三端子コンセント  機器本体	三端子コンセント （アース付きにも対応可能）  機器本体	機器本体 アース付きコンセント 	機器本体 アース付きコンセント  アース付きコンセント	機器本体  アース付きコンセント
参考価格 ※1	7,040 円	7,480 円	10,780 円	6,380 円	6,380 円	6,380 円
自己負担額	4,040 円	4,480 円	7,780 円 Ⓜ比較的高価	3,380 円 Ⓜコンセントタイプでは安価	3,380 円 Ⓜコンセントタイプでは安価	3,380 円 Ⓜコンセントタイプでは安価
遮断のタイミング	揺れを感知して 3 分後に遮断	揺れを感知して 3 分後に遮断	揺れを感知して 3 分後に遮断	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知後すぐに遮断	揺れを感知して 0 秒～3 分の間に遮断
寸法 (mm) 幅×高さ×厚み	機器本体:30×110×40	機器本体:110×30×40	機器本体:62×90×32	機器本体:74×56×36	機器本体:45×45×32	機器本体:50×60×33
設置方法	①機器本体を木ネジ（壁が石膏ボードの場合アンカー+木ネジ）で壁に取り付ける ②アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む	①機器本体を木ネジ（壁が石膏ボードの場合アンカー+木ネジ）で壁に取り付ける ②三端子コンセントにプラグを差し込む	①三端子コンセントにプラグを差し込むか、アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む	①機器本体を木ネジで壁に取り付ける ②アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む	①機器本体裏面の両面テープの剥離紙を剥がす ②アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む	①機器本体裏面の両面テープの剥離紙を剥がす ②アース端子にアース線を設置し、コンセントにプラグを差し込む
特徴	Ⓜ遮断まで3分の猶予があり、 <u>避難時の照明が確保</u> できる Ⓜ機器本体をネジで取り付けるため、 <u>壁に穴があく</u>	Ⓜ遮断まで3分の猶予があり、 <u>避難時の照明が確保</u> できる Ⓜ機器本体をネジで取り付けるため、 <u>壁に穴があく</u>	Ⓜ遮断まで3分の猶予があり、 <u>避難時の照明が確保</u> できる Ⓜ機器本体を壁にネジで取り付ける必要がないため <u>壁に穴があかない</u>	 Ⓜ機器本体をネジで取り付けるため、 <u>壁に穴があく</u>	Ⓜ機器本体を壁にネジで取り付ける必要がないため <u>壁に穴があかない</u>	Ⓜ遮断までの時間を0秒～3分の間で30秒ごとに設定でき、 <u>避難時の照明が確保</u> できる Ⓜ壁にネジで取り付ける必要がないため <u>壁に穴があかない</u> Ⓜ上部のボタンを3秒間押し続けると <u>動作をキャンセル</u> できる
累計設置実績	約4.2%	約0.4%	約3.6%	約0%	約21.8%（第2位）	新機器

※1 参考価格は変動する場合があります。価格の変動があった場合、市のホームページを随時更新してまいりますので、最新の価格は市のホームページにてご確認ください。

※2 コンセントに設置するタイプの感震ブレーカーは、震度5強以上の強い揺れを感知すると疑似的に漏電を発生させ、分電盤の漏電ブレーカーを作動させることにより、ご自宅への電気の供給を遮断します。
ご家庭のコンセントをご確認いただき、アース付きや三端子付きコンセントに、空きがあれば取り付けることができます。